

入善報



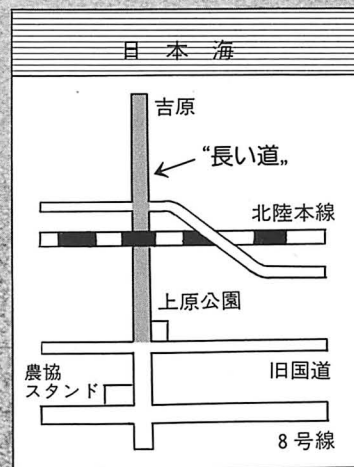
1989
9
No.386

●発行/入善町役場 ☎939-06 富山県下新川郡入善町入膳3255 ☎0765(72)1100 FAX 0765(74)0067 ●編集/総務課

■町のイメージアップ作戦

PART.17 「長い道」

吉原から南へまっすぐ伸びる1本の田舎道。
今から45年前、芥川賞作家、故柏原兵三さんが
当時の上原小学校へ通学した「長い道」です。
わずか2kmほどの道のりですが、途中、子供た
ちの間ではどんなドラマが展開されたのでしょ
うか。小説「長い道」は「少年時代」として映
画化、来年夏には全国で公開されます。



映画「少年時代」

45年前の入善町が再現

「長い道」が映画化、来年夏封切り



▲8月11日の横山小学校付近でのロケーションより。

この夏、入善町や朝日町・高岡市や氷見市など県内各地で映画「少年時代」のロケーションが行われました。いったいどんな映画で、町とはどのようなかわりがあるのでしょうか。また「長い道」との関係は…。多くの町民も参加したこの映画の中身を特集してみました。

入善町が舞台

映画「少年時代」は戦争中の入善町を舞台とした物語です。この映画の原作は、柏原兵三の小説「長い道」から出発しています。これは作者自身が昭和19年から20年まで、東京の小学校から父の実家のある入善町吉原へ縁故疎開した時の体験をもとに書かれた物語です。都会から疎開してきた優等生の主人公が、地元の一つのわんぱくグル

ープの勢力争いののはざ間で、ガキ大将に親しみを覚えながらも反発し合い、終戦により帰京するまでを描いています。

入善町が舞台とはいっても、ストーリーはあくまでフィクション。地名も「富山の半農半漁の村」という設定にしか出ていません。ただ、会話の中に出てくる「言葉」が、舞台が入善であることを物語っています。

8月に町内で行われた3回のロケーションは無事終了し、来年2月には雪降る冬の場面の撮影が始まります。

製作スケジュール

子役オーディション等を含めると約1年半の製作期間。来年2月から3月にかけてもう一度撮影があり、5月に完成します。

- ⑦ 22日：夏休み・クラランクイン
大家庄小を皮切りに富山ロケ開始
- ⑧ 1日：井田基之さん宅でロケ
- 11日 横山小ロケ
- 12日 その他、朝日・城端・高岡・氷見・能生・東京・静岡などで夏期撮影
- 31日：アツプ
- 1990年
- ② 初旬：冬期(雪)ロケーション開始
- ③ 下旬：春休み・春期ロケーション開始
- ④ クラランクアツプ編集
- ⑤ 初旬：完 成

▼わさわら……早稲のワラ。ワラは貴重品であった。今も、何かと使い道はあるが、コンバインで断裁され、田んぼでくさる運命。

「長い道」と

「少年時代」

この映画は2つの原作から構成されています。一つは、先に述べた柏原兵三の小説「長い道」。そしてもう一つは高岡市出身の人気漫画家、藤子不二雄A氏の漫画「少年時代」です。

昭和19年夏から20年夏にかけて、柏原兵三さんは入善町吉原で疎開生活を送りました。ちょうど同じ時期、藤子さんも朝日町山崎で柏原さんと同じような苦しい疎開生活を体験しました。

同じ体験をした藤子さんは、「長い道」を読んで深く感動し、

自らの体験を踏まえて「長い道」を「少年時代」というタイトルで昭和54年に漫画化しました。

「長い道」と「少年時代」は、場所や人物の設定に多少の違いはあるものの、基本的なストーリーラインは変わりありません。

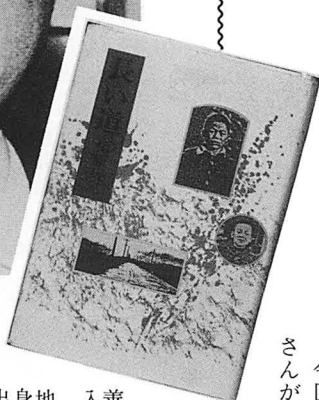
「少年時代」をなんとか映画化したい」という藤子さんの長年の夢が、篠田監督らの手によって実現の運びとなりました。

「長い道」と「少年時代」がうまくミックスし、さらに山田太一さんの脚本を加え、すばらしい物語が完成しました。



柏原兵三氏

1933年東京生まれ。本籍は父の出身地、入善町吉原。小学校5年のときに吉原へ疎開。この時の経験が「長い道」なる。東大独文科を経て同大大学院へ進んだ。
・67年「徳山道助の帰郷」で芥川賞受賞。以後教職と創作活動を続けたが、72年38歳の若さで急逝した。
■主な作品 「兎の結末」「長い道」「浸蝕」「夏休みの絵」「小さな石の物語」など



藤子不二雄A氏と「少年時代」



豪華なメンバー

今回の映画は、原作者の藤子さんが自ら企画・製作者として、陣頭指揮にあたりま

す。漫画家として劇映画の製作者となつたのは初めてです。

藤子さんの熱い願いを受けて、監督にあたるのは篠田正浩監督。快作「瀬戸内少年野球団」での手腕に期待がふくらみます。

脚本は、数々の名作でテレビドラマの第一人者、山田太一さん。久しぶりの映画シナリオ書き下しです。

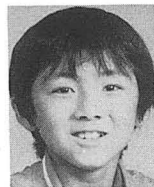
キャストは、主役の堀岡裕二君、藤田哲也君を始め、岩下志麻さん、細川俊之さん、河原崎長一郎さん、芦田伸介さんといった演技派が顔を合わせます。

特に主役の少年たちは、半年以上の長い期間を経て5千人以上の中から選ばれました。



旧上原小学校校跡、上原公園内に建立された柏原兵三文学碑。

主役の少年たち



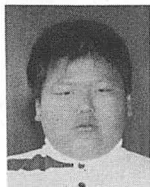
■風間進二役 藤田哲也君 (東京都)

縁故疎開者。東京では級長。彼の目を通して作品が語られる。



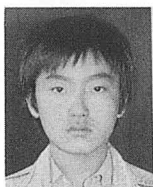
■大原 武役 堀岡裕二君 (高岡市)

五年男組の級長。地元ではいちばん成績が良くリーダー意識が強い。



■田辺 太役 山崎勝久君 (高岡市)

進二の隣に席する。少し抜けているが図体が大きく腕力がある。



■須藤健介役 小日向範威君 (東京都)

副級長。病弱。武の独裁体制に対抗する。冷静な分析力をもつ。

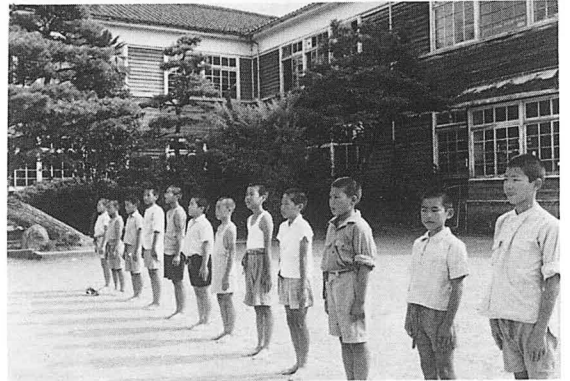
●にぐさい……食物が半くさりになって匂うこと。まだまだ暑い日もあります。生ものは早めに召上ってください。冷凍食品ばやりの時勢だが低温に強いバイ菌も多いとか。

いつもとちがう夏休み 町が映画村に「変身」した日

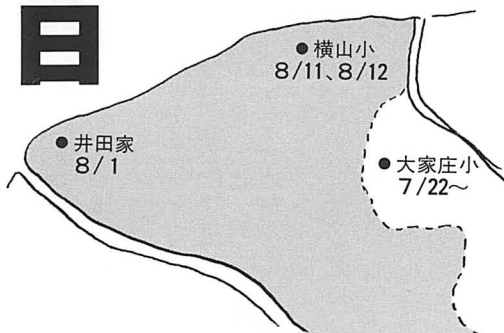
7月22日の朝日町大家庄小学校での撮影を皮切りに、入善町では8月1日に芦崎1区の井田基之さん宅で、8月11日・12日には横山小学校から南へ伸びる「長い道」でのロケーションが行われました。
汗をかきながら役者さんも、スタッフも、見物の人たちもみんな真剣な空気に包まれました。



▲エキストラで出演した子どもたち。元気がいいですね。



▲大家庄小にて。ポロをまとえど心は名俳優。

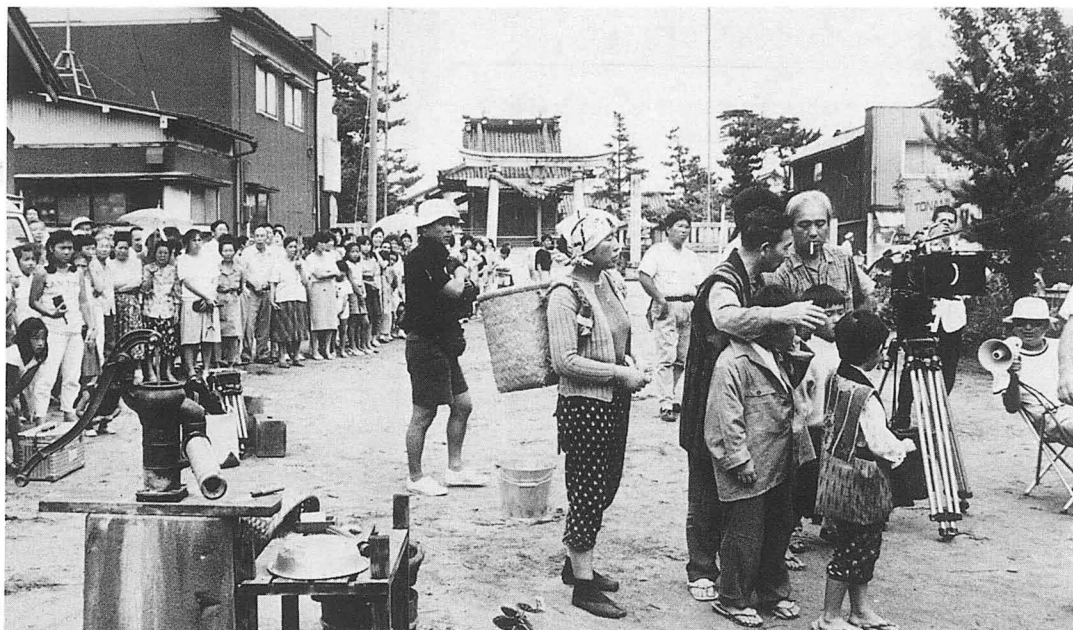


▶青塚初郎さん（小摺戸区・62歳）宅の牛も特別出演。



▲プロにも負けぬほどの美男美女。「長い道」はアスファルトをはがし、草を植えて45年前を復元。

☑しょーぶした……いい目にあつた。物事の結果が良い場合に安堵の様子があがえる。「丁か、半か」の勝負ではない。「しょーぶした」と言える毎日でありたい。



▲井田基之さん宅にて。お祭りのような人ばかり。休憩中は監督さんとだんらんのひとときも。

想像を超えた 大仕事!!

わずか数十秒のシーンを撮るのでも、舞台づくりや光や音の調整など大掛かりな準備作業が必要です。篠田監督をはじめ、プロデューサー、撮影、美術、録音、照明、衣裳、記録、助監督などスタッフだけでも50人近くの人たちが動員されます。

撮影が一番気になるのが天候。雨が止むのを半日も辛抱強く待ったり、太陽がじりじりと照りつける真夏の感じを出すため、晴天を待って予定を余儀なく変更したりもしました。一日がむだになるだけで300万円もの損害にもなるとか。

2・3回のリハーサルの後、監督の「本番」という声が発せられると、物音がピタリと止まり、大勢の見物人はかたずをのんで見守ります。ちょっとした雑音も許されません。井田さん宅では撮影中に作業用トラックが突然出現し、一時中断となるハプニングも。たとえプロの役者さんといえども、動きに少しでもまずいところがあると、容赦なく「カット」。

ふだん何げなしに見ている映画ですが、その制作には想像以上の労力が費やされていることを教えられました。



▲本番前のお化粧。美人がさらに美しくなります。



▲岩下志麻さん、七夕祭りに特別出演。



▲本番前のリハーサル



▲メガホン片手に篠田監督。この時の監督さんはこわいほど厳しい。

☼だすことならしたもださん……過度に物惜しみをする人のたとえ。けちんぼうの意。世の中が豊かになって、ゆとりがあるため、こんな人は少なくなった。

●篠田正浩氏

1931年、岐阜県生まれ。'53年、早稲田大学文学部卒業後、松竹大船撮影所に入社。'60年、「恋の片道切符」で監督デビュー。
 1965年、松竹を退社し、'67年、表現社を設立。
 近松門左衛門原作「心中天網島」を'69年映画化、その年の映画賞ベストワンを独占した。
 1986年、「鐘の権三」では、ベルリン映画祭銀熊賞に輝いた。
 主な作品 「沈黙」('71)「化石の森」('73)「はなれ瞽女おりん」('77)
 「夜叉ヶ池」('79)「瀬戸内少年野球団」('84)「舞姫」('89)



篠田監督に インタビュー

—映画化のいきさつは？
 ◆3年前、安孫子さん（藤子不二雄A氏）から漫画「少年時代」を映画化したいとお話をいただきました。安孫子さんは主人公と体験を持ち、また脚本の山田太一さんも疎開経験があることから、この映画にはお互いに熱い想いを燃やしています。
 小説「長い道」は少年を描いた傑作であり、骨太で濃厚な作風が魅力です。「長い道」自体の映画化は難しいところがあったのですが、それを「少年時代」として漫画化した安孫子さんの大衆性が、映画化の可能性を切り開いたと思っています。

—この映画の特色は？
 ◆この映画は少年が主役であり、大人は助演にすぎません。美しい富山平野の自然の中で、子供たちの熱いドラマが展開されます。疎開は、戦争の歴史の中でも世界共通の出来事であり、戦争は戦場だけでなく、名もない地方の片隅にまで及んでいました。疎開した子には故郷がなく、日本という国も見当たらなかったのです。一方、ふる里に住む者にとっては、近代的で華やかな都会からのよそ者に対して羨望、反発、敵意を抱きます。
 自分達と異なった分子が入ってくる、ふる里がにわか騒ぎ出し、活動し始めるのが分かります。これは、日本の社会の典型的な気風ともいえるでしょう。
 —何を訴える映画ですか？
 ◆映画「少年時代」をどう見るか。制作の側として見方を強要するものは何もありません。大人であれ子供であれ、それぞれが異なった感情を抱かれることでしょう。要は、一人一人が自分との一致点を見い出せばよいのです。
 映画を通して、自分というものを「発見」できることが大切なんです。
 入善の皆さん、「少年時代」をどうか楽しみに待っていてください。

井田基之さん (芦崎1区・59歳)



私の家は、今から120年ほど前に建てられたと聞いているのですが、このような古い家が、まさか皆さんのお役に立てるとは思ってもみなかったですね。映画撮影の舞台に選ばれるなんて、一生に一度のことでしょうから、家族ともども大変喜んでるんですよ。この映画を通して、町がどンドン活気づいて欲しいですね。



▶柏原兵三氏が旧上原小学校に疎開していた当時の同級生の皆さん。

「あの頃は毎日がけんかだね。まったくひどいものでしたよ」と小学校時代を振り返る皆さん。柏原兵三さんについては、「とにかく頭のいいやつで、よくカニングをしたものです」と笑いながら話します。何十人といった疎開者の中でも、柏原少年はかなり目立つ存在だったようです。「いっしょに登下校していた」という人もいれば、「彼の帰京後、3年間ほど文通していた」という人もいます。自分たちの当時の姿がそのまま小説や映画のシーンとなって現われ、中には悪役になっている人もいますので、どの登場人物が誰を演じているのかわからないか教えてもらえません。だけど、まるで当時の自分たちを再現するかのような映画「少年時代」に、懐かしさも手伝ってか皆さんの熱い期待が感じられます。

●ばんばしゅー……ひどい攻撃を受けること。標準語では、こてんばん。リズム感があり、情緒のあることばである。ただ、ばんばしゅーの状況に遭わないことを祈ります。



▲漫画「少年時代」より

篠田監督招き 講演会

映画は、私たちの感情にさまざまな刺激をもたらします。町では、「少年時代」の篠田正浩監督を講師にお招きし、教育講演会を次の日程で行います。多数のご来場をお待ちしています。

第7回入善町教育講演会

演題「映画で出会った人々」

▼日時 9月28日(木)

午後7時～9時

▼場所 町民会館コスモホール

▼講師 篠田正浩氏

映画が 町を「栄華」に

このような大々的な映画の撮影は町としても初めての出来事であり、しかも舞台が入善町となっていることから、町民の皆さんも大いに関心を持たれたことでしょう。あるいは何らかの形で、映画づくりに参加した人もいるかと思えます。

実際には、映画会社のスタッフや役者さんによって制作されるのですが、「すばらしい映画にしたい」というのは、私たち共通の願いでもあります。

来年の冬と春のロケーションが終われば、いよいよ夏には封切りとなります。全国に入善の魅力を知ってもらう絶好のチャンスであり、イメージアップにもつながるでしょう。また、私たちがふるさと入善を見つめ直す機会を与えられたとも言えます。

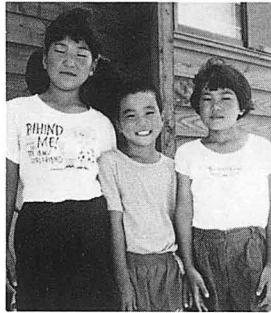
映画「少年時代」。あなたは誰とご覧になりますか。



柏原常三さん

(入善9区・75歳)

原作者、柏原兵三さんのおじにあたります。彼の書いた「長い道」の一節を座敷に飾り、当時をしのんでいます。彼が入善へ疎開してきた頃、私は朝鮮半島へ兵士として送り出されていました。戦争によって疎開させられた子供たちは、大変なつらい思いをしたことでしょう。それを知る意味でも今度の映画は意義深いものと思います。



米田 恵さん(横山小6年)

美佐子さん(横山小4年)

武史君(横山小2年)

私たち3人も「通行人」の役で映画に出ました。もんべとわらぞうりを初めてはきました。同じ役の人がたくさんいたので、あまり緊張はしなかったです。いっしょに出演した栴山小学校の子と友だちになれたのがうれしかったです。お父さんはビデオカメラで私たちを撮ってくれました。本物の映画も早く見てみたいです。



奥田 淳爾さん

(吉原1区・56歳)

柏原兵三さんの1歳年上になりますが、いっしょに少年時代を過ごし、その後も何度か接していました。彼は入善を大変愛していたし、心の支えにもなっていたと思います。今度の映画では、教育の根幹にかかわる問題点をいくつか提起してくれ、人間の本質に迫るほど奥の深い作品になるものと期待しています。いい映画になりそうですね。

●やーらしい……いやらしい。入善では「い」のとれた形が一般的で、「い」の分だけ、いやらしさが無いのがミソである。

——まず自己紹介してください。
 ソムバット 出身地はタイの首都、バンコクです。メナム川の河口に開けた人口約500万人の大都市です。日本と違って四季がなく、6月から9月までは雨期で、雨の多い日が続きます。11月1日にはロカトオンという灯ろう流しに似た全国的な祭りがあります。日本とは江戸時代から交流があり、仏教の国ですから親近感があります。日本からもたくさんの方に訪れられていますね。美人が多い



5月から8月まで、タイから富山日本電気㈱へ技術研修に来られたソムバット・パドウンワタラチヨウさん(31歳)。帰国後はタイのNEC工場のリーダーとして活躍します。

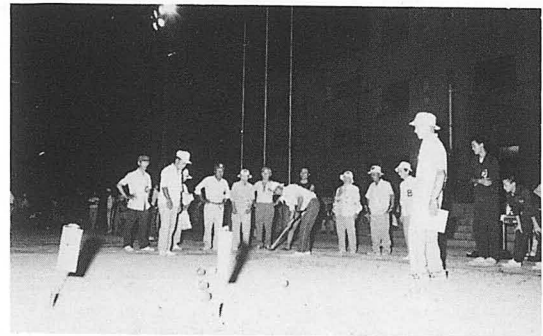


← 平和の心を後世に — 非核平和都市モニュメント完成

入善町は昨年の9月議会で「非核平和都市宣言」を採択。非核三原則や戦争の悲惨さを後世に伝えようと、役場庁舎前に「少女と小犬」のモニュメントと宣言文をきざんだ石碑を建立し、その除幕式が8月6日の広島原爆記念日に行われました。原爆投下の午前8時15分に全員が黙とうをささげ、平和への願いを新たにしました。

→ スポーツに明るい光が 入中グランド夜間照明設置

入善地区の皆さんからのかねての要望に応え、入中グランドにナイター設備が設置されました。この完成を祝って7月28日夜、町内会対抗のウォークベースボール大会が開かれました。「夜でも思いきりスポーツができる」と皆さんうれしそう。これで、各校下すべてのグランドに夜間照明が設置されたことになります



ついにやりました。ソフトボールの県内最長記録50時間達成!! NEC社員の皆さんが中心となって町民との親睦を狙いに企画。NEC日本電気グランドで7月28日夕方、町長の始球でプレイボール。3日間昼夜ぶっ通しで53チーム、約800人が参加し、途中の雨にも負けずに頑張りました。記録達成と同時に花火が上がリ、万歳の大合唱。

マラソンソフト50時間達成

← 297回、644 対 476

住 所 氏 名 年 令
 西 中 村 上 石 氏 義 63
 墓 木 村 上 石 氏 義 72
 良 本 世 帯 主
 一 人

おくやみ
 〈敬称略〉



一 宿 永 井 英 夫 二 女	高 瀬 竹 本 勉 二 長 女	小 杉 島 明 義 二 長 男	荒 又 島 明 義 二 長 女	入 膳 五十嵐 信 幸 二 男	東 狐 細 田 輝 之 二 長 女	下 飯 伊 野 慎 一 二 長 男	芦 崎 森 岡 俊 成 二 長 女	入 膳 坂 口 和 男 二 長 男	上 野 田 村 裕 治 二 長 女	上 野 吉 崎 大 二 長 女	舟 野 林 浩 則 二 長 男	君 島 若 林 晴 雄 二 長 女	木 崎 清 田 正 昭 二 長 男	入 膳 笹 原 博 輝 二 長 女	東 狐 木 村 俊 哉 二 長 男	東 狐 長 田 泰 彦 二 長 女	上 野 村 上 寛 文 二 長 男	東 狐 我 妻 道 男 二 長 女	住 所 保 護 者 続 柄 美 名 幸 前
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------	-----------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------------

おめでた
 〈敬称略〉



◆だいでーこき……農繁期。手塩にかけた稲が実り、収穫の秋が来る。ハサ掛けの稲束を屋外で脱穀すること。今は、コンバイン、乾燥機の普及で、省力化するむ。

ふるさとの歴史

黒部川の治水(Ⅳ)

No.31



藩政時代、黒部川の洪水の様を加賀藩に報告した記録がかなり残っている。農民からの報告には数十の村むらの団地が崩れ落ちたとか、多数の人家が流失したとか、前代未聞の洪水に襲われたなどと書かれている。このような洪水ばかりでは、私どもの入善町には人はとても住みつけなかったことになるわけだが、人びとは洪水とのつき合い方を良く心得ていた。

近世のはじめ、富山藩が領有していた飯野の辺りは洪水を考えない開拓で耕地を喪失しており、農民は川除(堤防)に全面的な信頼を寄せていなかった。川除は欠壊するものと考え、水の溢れてくる辺りはふだんは草地や林として利用していた。

藩の役人もその辺は心得ており、郡奉行の覚書には、「洪水被害の報告があっても、詮議すれば被害は減少する。入川は川形のない所へは強くは入らないから、草地などを除くと何程の被害もない。」と書かれている。藩政末期になって愛本新用水・十二貫野用水が開削された頃から、川除もしっかりしてきた。一宿や上野などの草地や林地に入川の不安がなくなると、開墾がすすみ、やがて一帯に美しい散村が形成されていった。

入善町史編纂委員
奥田 淳爾さん(吉原)

いの中でも有名なんですよ。入善での生活はどうですか。ソムバット 平和で静かない町ですね。何より、皆さんからの暖かいもてなしがうれしかったです。友達もたくさんできました。新屋の大磐祭りや七夕祭り、海岸でのパーベキューなど楽しい思い出がたくさん。立山にも登り、生まれて初めて雪に触れ感激しました。タイでは生ものはあまり食べませんが、さしみはとてもおいしかったです。おかげで2*ほど太りましたけどね(笑)。

— 今後の抱負は —
ソムバット 帰国後はタイのNEC工場に勤めますが、入善で学んだ技術を生かして会社を大きく発展させたいですね。機会があれば是非もう一度入善を訪れたいです。

美人度300%の小町娘

ミス織姫コンテスト



入善ふるさと七夕祭りの名物行事「ミス織姫コンテスト」が4日夜、商工会前の特設ステージで開かれました。年々、美人度が増しているのか審査員もやりにくそう。観客席から応援の声も飛び交います。

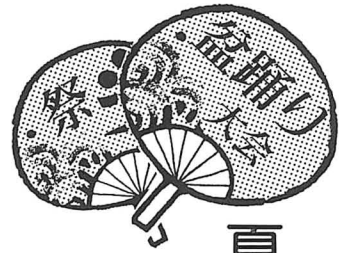
ミス織姫には安達祐子さん(朝日町・23歳・会社員)、ミススイカには寺田真由美さん(吉原・22歳・団体職)、ミスイチゴには終夜のみ子さん(富山市・21歳・僧職)がそれぞれ選ばれました。3人は町のカバーガールとして一年間活躍します。

かめらとびつくすカメラ・トピックス かめらとびつくす

届出はお早く
出生届……14日以内
死亡届……7日以内

小入	小舟	高入	道新	小新	慕木	青木	桐山	古部
摺戸	摺戸	膳見	膳古	膳戸	ノ屋	木本	山本	黒部
区	区	区	区	区	区	区	区	区
青木	由井	寺林	神保	廣瀬	藤塚	屋木	小林	永井
ふな	あき	興作	とき	義雄	建一	たか	加代子	一男
84	77	77	84	59	55	94	60	58
忠	勇	本	本	本	本	忠	和	本
義	作	人	人	人	人	義	義	人
人	人	人	人	人	人	人	人	人
三	人	人	人	人	人	人	人	人

●つるたぐり……未子のこと。つるをたぐってゆくと最後に小さな瓜などが成っている。昔は七人八人と子供が居た。一人か二人じゃ、つるたぐりにならん。



夏の風物詩復活へ

踊らにゃン・ン・ン

8月9日夜、町民会館イベント広場は異常な熱気に包まれました。6月から2か月間、町教育委員会が主催した「入善盆踊り音頭教室」の成果発表をかねた盆踊り大会。町内各地から300人を超える人たちがにぎわいました。

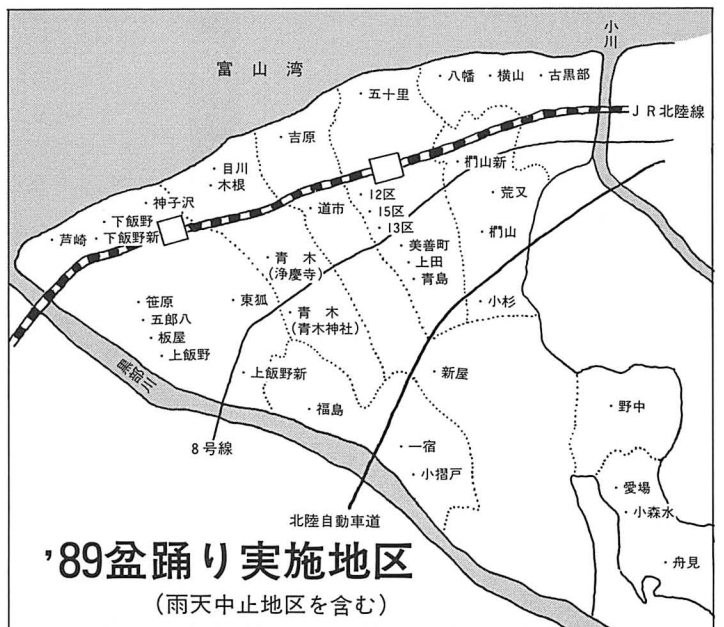
四重になった 踊りの輪

初めての試みだっただけに、主催の町教育委員会としても、「はたして人が集まってくれるだろうか。天気は大丈夫だろうか」と、始まるまではいささか不安な様子でしたが、その心配はまったくのムダでした。午後7時半から「盆踊り音頭教室」の受講生たちが踊り始めると浴衣に編み笠姿の女性、仮装した一団、さらに中高校生も加わり、見る見るうちに踊りの輪が広がって、気がつけばなんと、輪が四重にもなっていました。大会会場となった広場の中央



川口 稔さん
(下上野・58歳)

「音頭とりの部」の講師を2か月間勤めさせていただきました。90人と予想以上に生徒さんが集まり、練習は時間がたつのを忘れてしまうほど熱がこもりました。おかげで9日の盆踊り大会は大成をおさめました。盆踊りが年々すたれ、「もうこれでだめになるのでは」とあきらめかけていたのですが、どうやら早合点だったようです。このような活動を今後も続け、私も協力を惜しみません。



☛ごて……おやじ。夫。「そこな、ごてあるか」(お宅の旦那さんはご在宅かな?) 御亭主の略。お父さん、くれぐれも後手にまわらぬように。

▶「謎」の仮装集団。盆踊りへ新風吹き込みか。



▶町長さんも大ハッスル。最後まで踊り続けました。



▶初めて歌った音頭。少し緊張したけど、りっぱに音頭とりの仲間入り。



には紅白の幕をめぐるした屋台とちようちゃんが飾られ、屋台には音頭を習った人たちが次々に上がって「くどき」の歌詞に声を張り上げました。時には歌詞を忘れる場面もあって会場は大爆笑。「こんなに盛り上がった盆踊りはここ数年見たことがない」と訪れた人たちは口をそろえます。年々すたれが心配される入善の盆踊り。しかし、この日の盛り上がりはそんな心配をいっぺんに吹き飛ばすほどの元気を見せつけてくれました。

さあ、
来年の夏を
待ちきれるかな……



生涯学習課
学習振興係長
笹島春人さん

年々盆踊りがすたれていくのに危機感を感じるほどでした。今回の企画は大成りに終わり、私たちも喜んでるところですが、反面、行政が盆踊りの指導をするようになった時世に、複雑な心境を隠せない面もあります。伝統文化を守るため、このような運動はずっと続けていきます。若者を中心に盆踊りを愛する輪が一人でも多く増えるのを願ってやみません。これこそ「ふるさと創生」と思っています。



金沢テル子さん
(下上野・58歳)

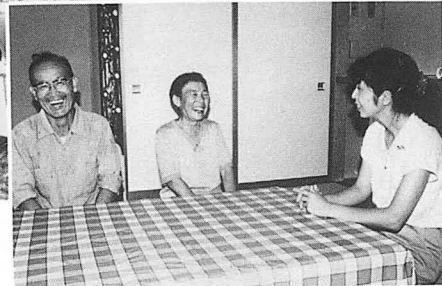
私が盆踊りを覚えたのは10歳頃だったと思います。大人の人に混じって、足を踏んだり、ぶつかり合いながら必死で覚えしました。「踊り手の部」の講師をさせていただきましたが、生徒の皆さんは本当に真剣で、わずか4回の講習で「平踊り」、「八つ足」、「ざんざん」を完全にマスターするほど。若い人たちが少なかったのが残念ですが、盆踊りの楽しさを少しでも多くの人に味わってもらいたいですね。

広報 **モニター**

見て歩き
老人福祉センター



▲日曜日ともなると大広間は満員。催しもいろいろ。



▲さわやか笑顔がす・て・き

いくつになっても笑顔を忘れず

町の老人福祉センターはオープンして今年で5年目。現在、5つの「シルバー生きがい教室」が定期的に開かれ、お年寄りの社交の場としても「大モテ」です。

同センターをいつも利用しておられるという村田久作さん(上野・69歳)と奥さんのかずゑさん(65歳)に、広報モニターの小摺戸芳恵さんがインタビューしました。

「おしゃべり」が一番楽しい

村田さんはいろんな教室に参加されているそうですね。

村田 茶道、ダンス、ゲートボール、それと地区公民館で週一回開かれる詩吟教室にも通っています。茶道やダンス教室では慰安会や旅行もあるし、ゲートボールは近所の仲間と毎朝5時半からやっています。詩吟では、今度初めての昇級試験を受けるんです。

奥さん 私もこことは別の教室ですが、民謡と健康体操を習っているんです。

— すごく精力的なんですね。

村田 なあに、遊んではかりいようなものですよ。家でじっとしていても退屈ですからね。やはり、何かやっていないとね(笑)。

— 家庭での仕事に支障はないですか。

村田 家には2町歩ほどの田んぼがありますが、すべて息子夫婦に任せています。私の仕事は庭の手入れと田んぼの草むしりだけです。

奥さん 私も食事の簡単な準備をする程度です。

村田 家族がお互いに自分の分担をわきまえていますから、気がねをすることもないですね。

— 「生きがい教室」の魅力は何でしょうか。

村田 趣味を伸ばせるということもありますが、いろんな話



募集

若い力を町政に

町職員を募集します

〈採用予定人員〉

▼初級職員………2名

消防職………1名

土木技術職………1名

〈受験資格〉

昭和39年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた人で、高等学校以上を卒業した人、または平成2年3月31日までに卒業見込の人。

〈試験の日時・場所〉

・第1次試験…平成元年10月22日(日) 県立富山東高校。

・第2次試験…平成元年11月初旬。第1次試験合格者に通知します。

〈申込方法〉

役場総務課に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、履歴書を添えて提出して下さい。

〈受付期間〉

平成元年9月1日(金)から9月20日(水)まで。

詳しいことは役場総務課

☎72-1100内線211まで。

町美術展の作品を

10月4日(水)から9日(月)まで町民会館で開催される町美術展の作品を募集しています。

♪つと……ワラを束ねて物を包んだもの。料理等を運ぶときに使う。宴会での残った料理は、「つと」にしよう。

現代版キャリーバック。

善意の窓

あたたかいご芳志に感謝いたします。

◆社会福祉事業資金へ (7月11日～8月10日)

下飯野	一 島 宗 吉	50,000	亡父長五郎の供養として
上 野	川 縁 均	50,000	亡父由松の供養として
	入善小学校5年生 菅野 亜矢子	1,500	拾得金
青 木	大 沼 マツエ	30,000	亡父豊次の供養として
目 川	杉 澤 吉 郎	100,000	社協会長退任にあたり

文字放送テレビの購入に 助成金が

町では、今年度より重度の聴覚障害者の方々が文字放送内蔵テレビを購入される場合、補助金を交付することになりました。

◆対象者 1・2級の聴覚障害者で、入善町に3年以上居住し、社会参加活動に積極的な方。

◆補助額 購入価格の3分の1相当額、又は5万円のいずれか低い額。

◆補助台数 平成元年度は3台の予定です。

※申込み、問合せは役場福祉課

☎72-1100 (内線141) まで。

火の元に注意!! 水路が断水・減水します

水路改修工事のため、黒東合口用水、右岸連絡用水及び各支線用水が断水・減水します。

●断水する期間

平成元年9月25日(月) 8:00から
9月27日(休)13:00まで

●減水する期間

平成元年9月28日～平成2年3月19日

●連絡先

黒部川沿岸土地改良区連合 ☎72-1696
入善町建設課 ☎72-1100
入善町消防本部 ☎72-0135



▶モニターの小摺戸さん
いっしょにダンス。

■老人福祉センターシルバー生きがい教室

- 民謡おどり教室(月2回)
- 茶道教室(月2回)
- ダンス教室(月2回)
- 囲碁教室(月4回)
- 手芸教室(月2回)

◆申込み・問い合わせは

老人福祉センターへ (8:30～17:00、火曜定休)

☎72-1740

題が出て、話し相手がたくさんできることが一番の魅力ですね。道端で「やあ、村田さん」なんて仲間から声を掛けられることがあると、本当にうれしいですよ。たとえ「生きがい教室」でなくても、各地区の公民館での講座などに参加してみてもいいですね。世間話をするだけでも楽しいものです。何もしないで家にいるのは不健康だと思います。老人福祉センターだけでなく、他の施設も大いに活用すべきでしょうね。

健康づくりと生きがいを見つけることは、自分自身の責任でもあります。敬老の日が近づくといつもそう思うんですよ。

●小摺戸 ご夫婦の明るい笑顔がとて素敵でした。村田さんに限らず、「生きがい教室」に参加している皆さんは、驚くほど生き生きしていますね。

「生きがい教室」だけがすべてではないと思いますが、何か一つ、自分が打ち込めるような趣味を持つことが大切なんですね。おしゃべりをするのが一番楽しい」ということも新しい発見でした。

各地区にも類似した施設があるので、これらをフルに活用して欲しいですね。うちのおじいちゃんにも「何かに参加してみたい」と、私の方から声を掛けてみようかしら……。

1105

▼部門：日本画・洋画・版画・書・写真・彫刻・工芸・陶芸
▼応募資格：町在住者、勤務者、出身者で作品は未発表のもの。ただし小・中学生は除く。▼搬入・申込み：所定の申込書で10月2日(月)までに町民会館へ。申込書は町民会館にあります。▼規格：日本画・洋画・版画は6号以上100号以内で額装。書は3尺×6尺以内で額装。白黒写真は半切以上、カラーは4切以上、組写真は5枚以内、いずれもパネル張り。

▼日時：9/29(金)から隔週金曜日、12/8(金)までの6回コース
▼定員：50名▼受講料：2千円
▼申込み：入善町民会館 ☎72-1100

コスモホールを使っただけでなく、洗足学園大学音楽部講師の那須田務さんを迎え、シューベルト、ブラームス、ワーグナーなどロマン派の作曲家たちの人物像を浮かびあがらせていきます。クラシック音楽に目覚めたあなた、この機会を是非お見逃しのないように。

クラシック音楽 への誘い

(お気軽編・6回コース)

◆ごたむく……無駄口をたたく。「ごたむいとらんと仕事(勉強)せんが」と、小言をいわれたものだ。「ごた」はどんなものか、今もわからず。この「ごため」と言われそう。

私たちの広場

「読書の秋……ですね」



イラスト
ペンネーム
佐藤正臣さん
(幸町・16歳)

ご意見などを
お寄せください

この広場は——

●ご意見 ●イラストやマンガ ●グループの紹介 ●私の趣味……などに利用したいと考えます。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報担当係 ☎72-1100
内線 203

8月に開かれた県青少年美術展で、長島君は絵画の部で見事大賞を受賞。県内の中学生以上25歳までの青少年から1721点の力作が寄せられ、その中の一番に選ばれたのですから大変なものですね。

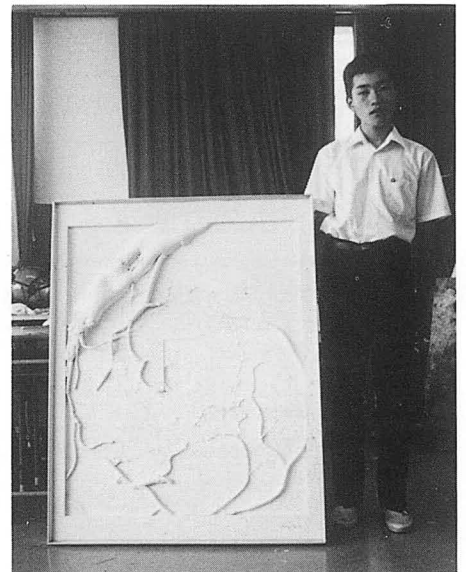
「木の根が枝分かれしながら、水を求めて地中深くうず巻いていく様をイメージしました」と説明する長島君。スケッチなしにぶっつけ本番でキャンバスに向かい、試験勉強そっちのけで完成するまで2か月もかかったとか。「絵より、むしろ工芸のほうが得意」とあって、今回の作品にもその特徴が現れています。電気コードやゴムホースを用いて空間の深まりを狙い、筆を一切使っていない点も審査員の注目を集めました。

長島君は泊高校美術部のキャプテンを勤め、部員20人のまとめ役としても活躍。夏休みには朝日岳北又での合宿も行いました。「進学を希望しています。美術大学に進んで好きな絵や工芸を思う存分作ってみたいですし、と熱っぽく夢を語る好青年。ただ今青春真っただ中！



長島浩貴君
(新上野・16歳)

フレッシュパワーで大賞



▲大賞作品を横にして

入善町中町
ニュージャパントラベル横
TEL 七四一二〇九



秋の夜長……
ちよつと
出かけて
みるのもいい

〈富山発着・特選ツアー〉

★ソウル4日間 116,000円
10/20(金)~23(月)

★濟州島3日間 96,000円
11/18(土)~20(月)

★釜山・慶州・ソウル4日間 118,000円
11/24(金)~27(月)

※忘年会・年末・年始海外旅行受付中!!

日曜・祝日も
営業しております。

ニュージャパントラベル

TEL 74-0151(代)

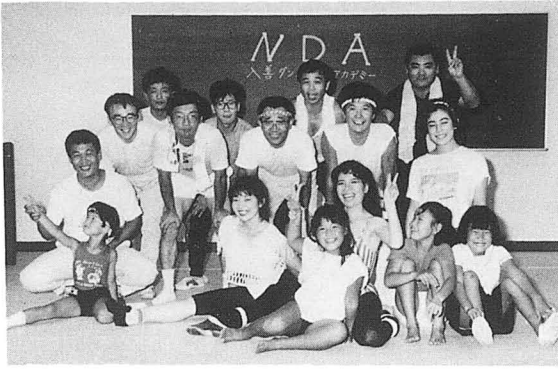
●みんからで……空身で、何も持たないで。手ぶらで出かけること。日本人は訪問するとき必ず土産を心配する。社交性が育たぬ最大の原因である。

グループ登場

男性に人気集中

N・D・A (入善ダンシングアカデミー)

N・D・Aは入善で唯一のエアロビクス教室。毎週木曜の夜7時半から町民会館視聴覚室で心地よい汗を流しています。エアロビクスは有酸素運動と呼ばれ、体内のすべての細胞に効率良く酸素を供給することが目的。NASA(米国防空宇宙局)で20年前に開発され、狭い場所でも簡単に体力アップが図れるのが特徴。軽快な音楽に



▲心もはずむ、身もはずむ皆さん。

乗って全身の筋肉を動かします。見た目には簡単で楽しそうですが、実際は相当な運動量です。40分間踊り続け、休憩をはさんでそれを2回繰り返します。息を切らしての大奮闘で、初めての方は途中でダウンするほど。現在のメンバーは17人。指導の奈月ルイ子さん(魚津市在住)ら女性4人の他は平均年齢38歳の「おじさん」たちです。(幹事長・広川周樹さん・古黒部2区)「腹をあと2cmへこませたい」、「四十肩を治すため」、「ゴルフをしても足が痛くならないように」と入会の動機はさまざまですが、中には「先生の悩ましい、姿勢を拜めるだけでも満足」と、やや不純な動機の人も何名か。それでも練習中の皆さんの目は真剣そのもの。「明るく、楽しく、ハッピー気分でもいい。体が軽くなり、ストレスも解消。友達の輪が広がりました」とうれしそうに語る皆さんの笑顔が素敵です。



岩場真佐夫さん (東町住宅・44歳)

野球一筋 名アンパイア

「とにかく野球が好きでしようがない。私から野球を取つたら何も残りません」と熱っぽく語る岩場さん。プレーの方は昨年で引退し、現在は審判に専念。今年で13年目になります。



▲真夏の炎天下でもこのかっこう。「暑いなんで言っていただけません」と岩場さん。

学生時代、テレビで大リーグの試合を見たとき、日本の審判とは一風変わったスタイルの良さに憧れ、全国軟式野球連盟の公認審判員の資格を取りました。野球のシーズンは4月〜9月。試合はほとんど休日にあるため、

「暇さえあればルールブックを読み返しています」という研究熱心さ。ナイター中継を見ている、選手よりむしろ審判の動作に目が向くとか。目下の悩みは審判員の絶対数が不足していること。一人で一日に3〜4試合受け持つこともあるとか。それでも野球の魅力には勝てず、「体力が続く限り頑張ります」とフアイト満々。

この期間は雨でも降らない限り家に居ることはないとか、「家庭サービスができないので妻には恐縮してます」と苦笑い。「1点を争うような緊迫した試合ほど、審判にも熱が入りますね。選手から見ると私のストライクゾーンは少し辛いらしいのですが、まるで自分が試合の演出家になったような気分は最高ですね」と審判員の魅力を語ってくれます。

全国建具組合連合会入善地区加盟店

- 舟見松原建具店
- 舟見魚津建具店
- 舟見舟貝木工所
- 一宿若島建具店
- 棚山新舟貝建具店
- 新屋橋本建具店
- 入膳南部木工所
- 東狐長田木工所
- 棚山長島建具店
- 八幡杉田木工所
- 八幡紺田家具店
- 小杉小杉建具店
- 入膳北川木工所
- 横山龜田建具店
- 小杉金山木工所
- 入膳白森建具店
- 五郎八篇原建具店



戸襖の 開けきた智 秋の窓

◆いたしめる……こらしめる。映画「少年時代」は、いじめの問題がテーマとか。弱い者いじめは、世の常だが、これを機会に大人も子供も真剣に考えてみよう。

今月の さわやかさん

No.69



寺田真由美さん くみあい
マーケット勤務
(吉原2区・22歳)

入善ふるさと七夕まつりで、7代目のミススイカに選ばれました。自分よりきれいな人がたくさんいたのに、「どうして私が」と今でも信じられない気持ちです。コンテストでは緊張しっ放しで、ステージでころばないことだけを注意していました。

スイカは私も大好きです。今年のジャンボ西瓜は特に甘くておいしいですね。もっと多くの方々に食べてもらいたいです。私の勤めるお店にも毎年たくさん並ぶんですよ。これからもおいしいジャンボ西瓜を思いっきりPRしたいですね。

海が好き。海のすぐそばで育ったからでしょうか、ドライブをしても自然に海岸へ足が向いちゃうんです。南の国の小さな島でゆっくりとトロピカルな気分を味わってみたいですね。

優しく思いやりのある人、いつまでも少年の目の輝きを持った人が理想の男性です。

夏休みには、毎日開館と同時に人であふれた図書館も、9月の声を聞くと同時に、静けさを取り戻しました。暑さも峠を越え、本好きの方には最適な季節の到来です。

さて、ここ相次いで出版されるものに、文壇の二世作家の作品があります。「キッチン」「TUGUMI」「白河夜船」と発表するたびにベストセラー入りする吉本ばなな(父は、詩人で評論家の吉本隆明氏)。「黄昏のストーム、シーディング」で、第2回三島由紀夫賞を受賞した大岡玲(父は詩人の大岡信氏)。ほかにも「身がわりー母、有吉佐和子との日日」の有吉玉青や、「母、円地文子」の富家素子など、話題に事欠きません。

ところで、若い人の小説離れが顕著になって久しくなりましたが、この吉本ばななの作品は若い人(ことに女性)の心を捉えて離さないようです。まるで松任谷由実の音楽のように甘くてなつかしいタッチで物語は展開していきますが、人間が常に抱いている存在の不安

あなたと図書館
新時代の
二世作家作品

☎72-0180
(直通)
休館日:毎週火曜日
9月17日(日)・29日(金)

を見事に描いています。ある評に「爽やかで、若く、よい匂いがする」とありましたが、新時代の小説にふさわしい軽やかさが、若い人に好まれるのでしょうか。



編集室

今月の人口

人口	30,172(+19)
男	14,447(+8)
女	15,725(+11)
世帯数	7,854(+4)
()内は前月比	
7月末日現在住民登録	

▼暑い夏もようやくややく峠を越え、そろそろ秋の気配が漂ってききました。去りゆく夏を惜しむ人もいれば、涼しい秋の到来を喜んでいる人も多いでしょう。私の場合はどちらかというの後者の部類に入りそうです。「くそ暑い季節からやっとなんて解放され、これで汗をかかなくても済むな、なんて思う私は、おじさんへの仲間入りをする第一歩なのではないでしょうか。ことわっておきますが私はまだ独身です。

▼私と同じように、9月になるのを心待ちにしていた子供たちがいます。昨年6月から進められていた入善小学校の新築工事が8月で終わり、2学期からはピカピカの新校舎で授業が始まります。新しい教室に初めて入った児童たちの「わあ、すげーや」といった驚きとうれしい叫び声が聞こえてきそうです。おっとその前に、夏休みの宿題はちゃんとできたのかな?